

今年も椿の季節になりました。
五島列島に自生するつばきは千百万本。
上五島だけでも六八〇万本あり
全国一と言われています。
その歴史は千年以上前の
遣唐使の時代に貢物として、
椿油が送られていたと記述があるほど。
さあ、つばき散歩に出かけましょう！
あなたが見つけた
つばきスポットも教えてください。

① わたしがみつけた椿スポット

② 椿公園（津和崎）

灯台の周りに整備された
遊歩道沿いにヤブツバキが見られます。
海を背景に椿が花咲く風景は
他ではなかなか見られない絶景です。

③ 椿街道（新魚目）

県道32号線沿いには自生の椿が連なっています。
椿の向こうに広がる海とのコントラストが絶景です。

④ 番岳（小串）

上五島で1番高い番岳（442.3m）の北側山頂には
姫椿（サザンカ）と
藪椿の約300本の原生林があります。
どうしてこのように椿が
多く自生したのでしょうか。

⑩ 藪椿の原生林（若松）

樹齢70～100年の藪椿
約1,500本が自生。
また、月ノ浦には幹回りが
1.8メートルほどある
大ツバキがあり、
実は多く早くつけるが、
老木のため落ちる実が
多いといえます。

⑨ 藪椿の群生地（高井旅）

数万本とも言われるほどの
藪椿が群生しています。
また、高井旅教会の赤い屋根と
椿の赤い花、
そして青空のコントラストも
美しい風景を作り出しています。

⑦ 椿並木（七目）

強風時の海岸からの
吹上風を和らげるための防風林。
花が落ちた道は赤いじゅうたんを
敷き詰めたようです。

⑤ 小さな椿（蛤）

小輪椿と呼ばれる、
直径わずか3センチほどの
可愛い椿に出会えます。
海の側に椿があるというのは、
「海石榴」が意味する
「海から渡ってきたザクロ
（椿の実が似ていることから）」
の通りで歴史を感じます。

椿日和 つばき写真展

2月1日(木)～25日
五島うどんの里にて展示！

⑥ 鯨見山（有川）

江戸時代の捕鯨が盛んだったころ
「見張所」が置かれていた場所。
展望台までの遊歩道の周囲に
ツバキがたくさん。
ピンクの椿が見られるかも？！
資生堂による椿の植林・保全
ボランティア活動が行われたのもこの場所です。

⑧ 稗ノ口の大椿（青方）

幹回りが2メートル以上、
推定樹齢350年という大木です。
幹回りの大きさから上五島第一と言われていました。
近くには樹齢250年と推定されている
兄弟椿と呼ばれる大木があります。

つばき里山まつり

2月3日(土)10:00-13:30
会場：新上五島町石油備蓄記念会館

主催：新上五島町つばき里山まつり実行委員会



発行：一般社団法人 新上五島町観光物産協会 TEL 0959-42-0964

お願い

- 1) 場所によっては私有地内の場合がありますので、無断で立ち入らないでください。
- 2) 椿の花や枝を折るなどの行為は絶対に行わないでください。
- 3) 私有地、私道での写真、動画撮影はしないでください。
- 4) 路上や私有地への無断駐車は絶対におやめください。
- 5) お散歩中にゴミを見つけたら、ぜひ拾って持ち帰ってくださいご協力をお願いします。

椿は大切に守り続けたい私たちの宝物です。
くれぐれもマナーを守ってつばき散歩をお楽しみください

Special Thanks

椿日和に
ご協力いただいた方々

つばき里山まつり実行委員会様、
忠木工房、
ごとう椿苗木生産グループ様、
五島うどんの里運営協議会、
多くの椿ラバーズみなさま